



地域の文化遺産を後世に継承する

こよ 野末 佑一さん(かなん沢在住)
からさわ瓦古窯発見者

1968(昭和43)年2月に現住居裏に住んでいた義理のお父様が東名高速道路工事斜面の一部が赤く変色しているのを不思議に思われたので、義理のお兄様と一緒に変色現場に向いてみたところ、当時、勤務されていた千代小学校の資料室に保管されていた千代廃寺の布目瓦と同じ瓦片が一面に刺さっていました。そこで、千代小学校PTA会長で千代廃寺について研究されていた小田原史談会副会長の内田さんに連絡したところ瓦古窯発見が新聞記事となりました。そこで県文化財保護委員の赤星直忠先生が確認調査にお見えになり、千代小学校教諭野末佑一さんが第一発見者ということになりました。



現在、松田町生涯学習センターに展示保管されている最(西)明寺阿弥陀仏は、野末さんが2006(平成18)年に庶子自治会(旧庶子戸主会)の会長に就任された時、町指定重要文化財である仏像(通称善光寺さん)が、桜観音のブロック建築の倉庫で保管されており、劣化の心配や町民や近隣市町の皆様にも広く知っていただきたく町にお願いして展示保管していただくことになりました。

また、同じく町重要文化財の十一面観音像が安置されているお堂は、かつては庶子自治会の所有物でしたが、所在地の宝壽院に維持管理を委譲しました。しかし、近年お堂の屋根や柱の痛みが激

しくなり、補強工事が必要となり、その高額な工事費を捻出するため、野末さんを含む4名の宝壽院総代が中心となって、檀家や庶子自治会員、一般の方々から寄付金を募り、昨年10月にお堂の補強工事が完了しました。

2026年11月22日に、中里・かなん沢・城山自治会と城山ふれあい会共催・松田町・松田町教育委員会の後援で、「戦争体験者のお話を伺う会」が開催され、野末さんが講師をつとめられました。

野末さんは1936(昭和11)年に東京府大森で生まれました。お父様が山田村(現大井町山田地区)の出身だったので縁故疎開し、山田村国民学校4年生の10歳の時に終戦を迎えました。

特に御殿場線下曽我駅で弾薬や砲弾を積んだ貨物が爆撃されたときは爆発音が山田まで聞こえ、夜は下曽我の空が赤かったそうです。この日は14名の立花学園高等学校の生徒も参加していて、高校生も熱心に聞いてくださり、積極的に質問してくださいました。

正の遺産も負の遺産も地域の文化や営みを後世に伝え引き継ぐことは、新たな未来を拓くことにたいせつなと感じさせられました。

※「からさわ瓦窯跡群調査報告書」刊行記念シンポジウム 令和8年10月17日(土)開催予定

「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体で、このコーナーに掲載して下さる方を募集しています。希望される方は下記までご連絡ください。

**令和8年 第2回定例会は
6月2日(火)開会予定**
ぜひ、傍聴にお越しください。
発熱等症状がある方は、ご遠慮ください。

議 会 会 報 広 聴 常 任 委 員 会	委 員 長 武 尾 哲 治	副 委 員 長 寺 嶋 正	委 員 飯 田 一	委 員 南 雲 ま さ 子	委 員 秋 田 谷 光 彦	委 員 吉 田 功
---	---------------------------------	---------------------------------	-----------------------	---------------------------------	---------------------------------	-----------------------

中東の紛争が収まり世界が1日も早く平和になりますよう。
(飯田)

中東の紛争と平和な日本、地政的なギャップや今後日本に与える影響などを思いながら筆を執っています。
さて松田町の3月議会は翌年度の予算を決める大事な議会となっています。チルドレンファーストのもと、子育て世帯への経済支援等を厚くした町として初の1000億を超える大型予算となっており、町民の幸せのための予算になっているか、議員が一生懸命執行者側と質疑を交わしました。

**編集
あとがき**